

かしこい消費者になって、 よりよい社会をつくっていきましょう

わたしたちは、必要な物やサービスをお店で買い、それを使って(消費)生活しています。

みなさんもお菓子や文房具など、自分のおこづかいで買うことがありますね。

みなさんも「消費者」なのです。

みなさんも一人の消費者として、正しく商品を選ぶ力、

売り方や商品が何かおかしいと気付く力、買う前に考えることができる力を身に付け、

正しい行動ができる、かしこい消費者になりましょう。

この本には、そのためのヒントがたくさんつまっています。

さあ、みんなで学んでいきましょう。

もくじ

CHAPTER 0	お金の大切さについて	3
CHAPTER 1	選ぶについて学ぼう	5
CHAPTER 2	買うについて学ぼう	7
CHAPTER 3	払うについて学ぼう	11
CHAPTER 4	カードについて学ぼう	13
CHAPTER 5	インターネットトラブルについて学ぼう	17
CHAPTER 6	悪質商法について学ぼう	27
かしこい消費者が暮らす社会にするために		31
消費者問題相談窓口		33

岐阜県では

岐阜県においても、消費生活の相談窓口である「県民生活相談センター」に、平成23年度は年間7,115件の相談がありました。そのうちの、300件が未成年(20歳未満)からの相談でした。

20歳未満
300件
年間7,115件

平成23年度の未成年からの相談のうち、83パーセントが「インターネットの有料サイト」に関わるトラブルでした。インターネットでのサービスの利用や、インターネットを使用することでのトラブルは、年々増えています。消費に関するトラブルに巻き込まれるのは、大人だけではなく、未成年も巻き込まれています。

